

令和6年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	地歴	地理総合	全	2	わたしたちの地理総合 世界から日本へ(二宮書店) 基本地図帳(二宮書店)	図説地理資料世界の諸地域NOW2024(帝国書院) わたしたちの地理総合ワークブック(二宮書店)
<p>学習の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。また、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめめる技能を身に付けるようにする。 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。 						
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	1章 地図とGISの活用	1節 球面上の世界	1,2 球面上での生活 3 世界地図でとらえる地球	球体としての地球、時差と生活、おもな図法による世界地図、地図の表現を理解する。球面上の正しい方位や時差、図法によって異なる世界地図の特色を理解し、以降の学習の基盤を築くとともに、日常生活で活用する力を身に付ける。	
			2節 国家の領域と領土問題	1 国家の領域と海洋の役割 2 日本の位置と領土問題	国家の3要素や国境のなりたち、領域における海洋の役割、日本と周辺諸国間の領有権問題について理解する。国境や領土問題が国際関係、人々の生活におよぼす影響を考察する。	
		5月	3節 国内や国家間の結びつき	1 国家をこえた結びつき 2 観光による結びつき 3 交通・通信による結びつき 4 貿易・物流による結びつき	外国で暮らす日本人を題材として、日本と諸外国との関係を理解する。国家間の結びつきを地域経済圏や国際連合を通して考察する。観光、交通・通信、貿易・物流の視点から、人や物・資本・サービス、情報の国際的な移動のようすを理解する。さまざまな統計地図や統計資料を分析し、表現する地理的機能を養う。	
	4節 日常生活のさまざまな地図		1 身の回りにあるさまざまな地図 2 地理情報システム(GIS)のしくみと使い方	身の回りにある地図を題材にして、地図を用いた情報伝達の方法を習得する。地理情報の電子化について学習し、紙の地形図と電子地形図の違いや用途を理解し、活用する。地球儀ソフトや地理院地図などのGISソフトウェアを利用して地理空間情報を扱い、表現する技能を養う。		
	6月	2章 生活文化の多様性と国際理解	1節 自然環境と生活文化	1 地球上の地形のなりたち 2,3 山地と平野/海岸部の生活 4 地球上の気候のなりたち 5 曇り気候に対応した生活 6 乾燥した気候に対応した生活 7 季節の違いに対応した生活 8 寒帯気候に対応した生活	世界的な視野から地球上の起伏の分布がプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連していることを捉える。また、河川がつくる地形や海岸部の地形、それらの地形を活かした暮らしの特徴を学習し、写真や地形図によって具体的に読み取り、考察する技能を身に付ける。 世界的な視野から大気が循環する仕組みを捉え、日射のほか地形分布や海流などからも影響を受けて気候の地域性が生まれることを理解する。世界の各気候帯の自然環境の特色、人々の暮らしと工夫について、写真や雨温図、分布図などの資料から考察する。	
			2節 産業の発展と生活文化	1 農業の地域性 2 農業と生活文化 3 工業の地域性 4,5 経済成長による生活の変化 6,7 工業化による生活の変化	世界の農業・工業・第3次産業の特徴と生活文化との関連性を捉え、その地理的環境や歴史的背景を理解する。また、アジア各地の事例地域の学習を通して、経済活動の国内・国際的な発展と、グローバル化による生活文化の変容を動的に捉え、主題図や写真などの資料を通して考察する。	
		9月	3節 言語・宗教と生活文化	1 世界の言語 2 世界の宗教 3 仏教圏の生活文化 4 キリスト教圏の生活文化 5,6 イスラム圏の生活文化 7 世界の多民族・多文化社会 8 さまざまな社会の形成と生活文化 9 多文化社会の実現と生活文化	世界の言語・宗教の特徴と分布、生活文化との関係を考え、その地理的環境や歴史的背景から地域的特色を理解する。また、現代社会における言語・宗教の変容を動的に捉え、主題図や写真などの資料から考察する。世界の少数民族や少数言語、宗教対立、移民・難民などの現代社会の諸課題を理解し、互いに多様な文化を尊重する多文化共生社会の実現方法について議論し、考察する。	
	10月	4節 グローバル化の進展と生活文化	1~3 地球統合による生活文化の変化 4~6 グローバル化による成長と課題	EUの統合による産業や生活文化への影響、そして統合によって生じている経済格差や移民問題などの諸課題を理解し、ヨーロッパ各国の国家としての在り方の変容、EUと日本のつながりについて考察する。 アメリカ合衆国建国時から多様性を育んできた地理的環境・歴史的背景を理解し、グローバル社会で世界をリードする産業の発展と企業の国際化の過程を捉え、アメリカ合衆国の変容、日本とのつながりについて考察する。		
	後期	11月	3章 地球的課題と国際協力	1節 人口・食料問題	1 世界の人口問題 2 人口が増加した国の課題 3 人口が停滞する国の課題 4 世界の食料問題 5 人口増加と食料問題	世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解し、人口ピラミッドや主題図などの資料から問題の所在と解決のための取り組みを考察する。また、人口急増国だけでなく人口停滞国の事例を通して、各国の人口政策や諸問題について比較し、理解を深める。持続可能な発展のために、飢餓や飢饉などの食料問題と人口問題を関連させて理解する。その際、モノカルチャー経済や気候変動などの背景的要因も捉えながら、グローバル・ローカルな視点から解決方法を構想する。
2節 居住・都市問題				1 世界の居住・都市問題 2 大都市の地域性と課題 3 人口が密集する都市の課題	都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取るとともに、人口集中によって引き起こされる都市問題についても写真などから判読する。また、途上国と先進国では異なる都市問題が発生していることを理解し、その構造的要因を考察する。都市問題を解決するための都市政策や科学技術の事例に触れながら、解決の方策を構想する。	
12月		3節 資源・エネルギー問題	1 世界の資源・エネルギー 2 エネルギー資源の生産・消費と課題 3 再生可能なエネルギーへの移行 4 鉱産資源の産出と消費	エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し、主題図や統計資料をもとに資源の偏在性、有限性、そして消費における地域格差などの諸課題を読み取る。エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するために、化石燃料や再生可能エネルギーのメリットやデメリットを比較し、国際協力の必要性、日本とのつながりについて考察する。		
1月		4節 地球環境問題	1 地球温暖化の現状と将来 2 熱帯林の減少 3 砂漠化の進行	地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化など、地球規模でおこっている環境問題の仕組みを構造的に理解する。地球環境を守り持続可能な発展を実現するためには、国際的な協力体制が必要なだけでなく、その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを考察する。また、環境問題と自分自身とのつながりを意識し、SDGsの因果関係も捉えながら具体的な取り組みを構想する。		
			1節 自然環境と防災	1 日本の地形・気候と生活 2~4 風水害/火山/地震・津波と防災 5 都市型災害と防災 6 防災・減災への心構え	日本列島の地形や気候のなりたちと多様性について、主題図やグラフ、写真などの資料から理解する。また、日本列島では自然による恩恵だけでなく、風水害、火山、地震・津波、都市型災害などが発生することを世界的な視野から捉え、その要因と特徴、災害の地域性、防災や減災への取り組みや課題を考察する。新旧地形図やハザードマップなどを活用し、自らの生活圏の防災について考察し、表現する技能を身に付ける。	
2月	2節 持続可能な地域づくり	1 地域調査の実施手順と方法 2~4 地域調査①~③ 軽井沢	生活圏の課題を解決するための手法としての地域調査を実施し、身近な地域の魅力やかかえている課題を見だし、調査を踏まえてその解決策を考察する。地域調査の一連の手順を理解し、景観観察やアンケート・聞き取り調査など、さまざまな調査方法を活用する。調査結果や統計ツール、新旧地形図やデジタル地図、各種資料などによって得られた情報を多角的な視点から主題図やグラフにまとめ、将来に向けた地域のあり方を構想する。			